

平成28年度

袋井市森町広域行政組合会計
歳入歳出決算審査意見書

袋井市森町広域行政組合監査委員



袋広行組監第8号

平成29年8月22日

袋井市森町広域行政組合

管理者 袋井市長 原 田 英 之 様

袋井市森町広域行政組合

監 査 委 員 鈴 木 英 司

監 査 委 員 大 場 正 昭

平成28年度 袋井市森町広域行政組合会計歳入歳出決算審査の意見について

地方自治法第233条第2項及び同法第241条第5項を準用する同法第292条の規定により、審査に付された平成28年度袋井市森町広域行政組合会計歳入歳出決算及び附属書類を審査したので、次のとおり意見書を提出する。

平成28年度 袋井市森町広域行政組合会計歳入歳出決算審査意見書

目 次

	ページ
1 審査の対象 -----	1
2 審査の日 -----	1
3 審査の方法 -----	1
4 審査の結果 -----	1
5 決算の概要 -----	1
(1) 歳 入 -----	1
(2) 歳 出 -----	2
6 実質収支に関する調書 -----	2
7 財産に関する調書 -----	3
8 基金運用状況調書 -----	5
9 まとめ -----	5

(注)

文中及び各表中の金額等の記述は、次の要領による。

- 1 金額の単位未満の数値は原則として四捨五入とし、一部調整のため切り上げ又は切り捨てたため、合計額等と数値が一致しない場合がある。
- 2 比率は、百分率で小数点以下第2位を四捨五入した。
なお、「0.0」の表示は、「0.05」未満の数値について小数点以下第2位を四捨五入した結果である。
- 3 △表示は、対比又は比較等がマイナスとなった表示である。

平成28年度 袋井市森町広域行政組合会計歳入歳出決算審査意見書

1 審査の対象

平成28年度 袋井市森町広域行政組合会計歳入歳出決算

2 審査の日

平成29年7月14日

3 審査の方法

袋井市森町広域行政組合管理者から送付された決算書及び附属書類について、計数の確認を行うとともに帳票、証拠書類との照合点検をし、関係職員から内容を聴取し、審査を実施した。

4 審査の結果

審査に付された決算書及び附属書類は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、各計数に誤りはなく、全体的に良好な事務の執行がなされているものと認めた。

5 決算の概要

(1) 歳入

(単位:千円、%)

区分 款	平成28年度					平成27年度 収入済額 (D)	増減額 (C)-(D)	前年度 対比 (C)/(D)
	予算現額 (A)	調定額 (B)	収入済額 (C)	執行率 (C)/(A)	構成比			
1 分担金及び負担金	2,412,622	2,408,776	2,406,057	99.7	82.4	2,461,289	△ 55,232	97.8
2 使用料及び手数料	202,785	201,682	201,682	99.5	6.9	199,616	2,066	101.0
3 県支出金	11,258	11,258	11,258	100.0	0.4	10,684	574	105.4
4 財産収入	1,200	730	730	60.9	0.0	343	387	212.8
5 繰入金	34,000	34,000	34,000	100.0	1.2	56,374	△ 22,374	60.3
6 繰越金	85,361	85,361	85,361	100.0	2.9	36,538	48,823	233.6
7 諸収入	31,212	31,326	31,326	100.4	1.1	22,865	8,461	137.0
8 組合債	158,900	148,800	148,800	93.6	5.1	134,100	14,700	111.0
合計	2,937,338	2,921,933	2,919,214	99.4	100.0	2,921,809	△ 2,595	99.9

歳入決算額は、予算現額2,937,338千円に対し、収入済額2,919,214千円であり、予算現額に対する収入済額の執行率は、99.4%(前年度100.0%)となっている。

収入済額を前年度と比較すると2,595千円(0.1%)の減少となった。

収入済額の構成比では、分担金及び負担金82.4%、使用料及び手数料6.9%の順となっている。

市町別分担金及び負担金調書

(単位:千円)

市町別	共通費分担金	衛生費分担金	消防費分担金	消防費負担金	合計
袋井市	30,748	992,584	820,277	82,789	1,926,398
森 町	6,745	218,350	244,880	9,684	479,659
合 計	37,493	1,210,934	1,065,157	92,473	2,406,057

(2) 歳 出

(単位:千円、%)

区分 款	平成28年度						平成27年度 支出済額 (E)	増減額 (B)-(E)	前年度 対比 (B)/(E)
	予算現額 (A)	支出済額 (B)	翌年度 繰越額 (C)	不用額 (D)	執行率 (B)/(A)	構成比			
1 議会費	645	585	0	60	90.7	0.0	567	18	103.2
2 総務費	37,135	35,573	0	1,562	95.8	1.2	37,367	△ 1,794	95.2
3 衛生費	1,124,173	1,110,719	0	13,454	98.8	38.7	1,017,506	93,213	109.2
4 消防費	1,264,244	1,228,503	12,693	23,048	97.2	42.7	1,284,633	△ 56,130	95.6
5 公債費	499,623	499,560	0	63	100.0	17.4	496,375	3,185	100.6
6 予備費	11,518	0	0	11,518	0.0	0.0	0	0	—
合 計	2,937,338	2,874,940	12,693	49,705	97.9	100.0	2,836,448	38,492	101.4

歳出決算額は、予算現額2,937,338千円に対し、支出済額2,874,940千円、不用額49,705千円で、予算現額に対する支出済額の執行率は、97.9%(前年度97.1%)となっている。

支出済額を前年度と比較すると38,492千円(1.4%)の増加となった。

支出済額の構成比では、消防費42.7%、衛生費38.6%、公債費17.4%の順となっている。
なお、翌年度への繰越額は12,693千円となっている。

6 実質収支に関する調書

平成28年度決算においては、歳入総額2,919,214千円、歳出総額2,874,940千円、歳入歳出差引額は44,273千円であるが、この額には翌年度へ繰り越すべき財源(繰越明許費繰越額)2,674千円が含まれているので、この額を差し引いた41,599千円が実質収支額となっている。

7 財産に関する調書

(1) 公有財産

ア 土地及び建物

(単位: m²)

区 分	土地(地積)			建物(非木造延面積)		
	前年度末 現在高	決算年度 中増減高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度 中増減高	決算年度末 現在高
火葬施設	36,140.56	0.00	36,140.56	1,448.18	0.00	1,448.18
ごみ処理施設	74,386.33	0.00	74,386.33	7,796.88	0.00	7,796.88
下流水路管理道路	980.94	0.00	980.94	—	—	—
し尿処理施設	31,282.45	0.00	31,282.45	4,852.49	0.00	4,852.49
搬入路	2.81	0.00	2.81	—	—	—
消防施設(新庁舎)	0.00	4,219.41	4,219.41	—	—	—
袋井消防本部袋井消防署	—	—	—	1,214.55	0.00	1,214.55
袋井消防署浅羽分署	—	—	—	734.52	0.00	734.52
袋井消防署山梨分遣所	—	—	—	509.25	0.00	509.25
袋井消防署森分署	—	—	—	952.34	0.00	952.34
合 計	142,793.09	4,219.41	147,012.50	17,508.21	0.00	17,508.21

イ 工作物

(単位: m³)

区 分		前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
ごみ処理施設調整池下流水路柵渠及び管理道路		1,265.00	0.00	1,265.00
消防訓練塔	A 塔	250.00	0.00	250.00
	B 塔	120.00	0.00	120.00
合 計		1,635.00	0.00	1,635.00

(2) 物 品

ア 事務局

(単位: 台)

区 分	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
軽四自動車	1	0	1

イ 施 設

(単位:台)

区 分	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
軽トラック	2	△ 1	1
ダンプカー	2	△ 1	1
普通自動車	1	0	1
軽四自動車	1	0	1
フォークリフト	2	0	2
ホイローダー	1	0	1

ウ 消 防

区 分	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
無線基地局	1 台	0 台	1 台
可搬ポンプ	6 台	0 台	6 台
救急車	5 台	△ 1 1 台	5 台
指令車	1 台	0 台	1 台
連絡車	3 台	△ 1 1 台	3 台
査察車	1 台	0 台	1 台
広報車	1 台	0 台	1 台
指揮車	1 台	0 台	1 台
指揮支援車	1 台	0 台	1 台
マイクロバス	1 台	0 台	1 台
消防ポンプ車	3 台	0 台	3 台
救助工作車	1 台	0 台	1 台
水槽付消防ポンプ車	4 台	0 台	4 台
化学消防自動車	1 台	0 台	1 台
梯子付消防ポンプ車	1 台	0 台	1 台
水防車	1 台	0 台	1 台
水槽付消防ポンプ車(予備車)	1 台	0 台	1 台
救命ボート	4 艘	0 艘	4 艘
非常用電源装置	4 台	0 台	4 台
自動体外式除細動器	11 台	0 台	11 台
高度救急シミュレーター	1 式	0 式	1 式
エアーテント	5 式	0 式	5 式

(3) 債 権 無 し

(4) 基 金

(単位:千円)

区 分	前年度末 現在額	決算年度中 増減額	決算年度末 現在額
財 政 調 整 基 金	289,272	1,433	290,705
消防職員退職手当基金	25,493	10,018	35,511
合 計	314,765	11,451	326,216

8 基金運用状況調書

(単位:千円)

区 分	前年度末 現在額	決算年度中増減額		決算年度 末現在額	備 考
		受入	払出		
財 政 調 整 基 金	289,272	35,433	34,000	290,705	新規積立額 35,228 利子積立額 205 基金取崩額 34,000
消防職員退職手当基金	25,493	10,018	0	35,511	新規積立額 10,000 利子積立額 18
合 計	314,765	45,451	34,000	326,216	

9 まとめ

平成28年度袋井市森町広域行政組合会計全般にあたり、機器購入の手法等事務の見直しに取り組むなど、効果的・効率的な運営に努められたい。

中遠聖苑については、定期的な点検及び修繕を実施し、施設の維持管理に努められたい。

中遠クリーンセンターについては、引き続き「中遠クリーンセンター管理運営モニタリング委員会」を定期的開催し、長期包括的委託契約による運転管理が適正に行われていることを確認するとともに、ごみの搬入量が増加傾向にあることから、構成市町と連携し、ごみの減量化に向けて積極的に取り組まれたい。また、機械設備の更新・改修を計画的に実施し、施設の適正管理及び運営に努められたい。

袋井衛生センターについては、定期的な点検及び修繕を実施し、施設の老朽化対策を推進するとともに、委託業者の運営状況を常に確認し、適正な維持管理に努められたい。

消防業務については、平成32年4月の袋井消防庁舎の開署に向けて、翌年度に繰り越しした袋井消防庁舎・袋井市防災センター実施設計業務を完了するとともに、計画的かつ着実に当該事業を進められたい。

なお、救助活動及び各種災害対応の充実のため、高規格救急自動車及び連絡車を更新し、車載型無線機等の新規購入を行っている。引き続き、地域住民の安心・安全を守るため、計画的に体制の整備・充実に努められたい。